

幸福への構想力

山田 橋爪さんのご本が、この頃とても元気で面白くて、今日はぜひこれらの日本人の生き方について伺いたいと思いでいます。

日本人は、戦後のある時期まで、たとえば貧困からの脱出というような輪郭のはっきりした目標を持ち、それを達成してきたと思うんです。ところが、その方向での努力が、あるラインを越えると、必ずしも人を幸福にしない

●やまだたいち 一九三四年東京生まれ。早大卒。シナリオライター、作家として活躍中



山田太「心のシナリオ」対話—最終回

人類再生への

「思想革命」

目標を喪失し、国際化による「他者との遭遇」に戸惑う日本人。環境危機、人口爆発に揺れる地球。人類のサバイバルを期して、いま注目の俊英が提示する大胆な未来像とは――

気がついてきた。「働き過ぎだ」なんていわれると、あまり働くのはよそうと思う。けれども、どうもうまくコントロールできない。コントロールする哲学がない。いまは切実に近代的な目標を抑制する哲学というか、そういうものが求められる時代じゃないかと思うんですが？

橋爪 戦後五十年、日本人が持っていたもりの目標は、本当は、目標ではなかったんじゃないでしょうか。本当の目標というのは、達成されたらそこで止まるものだし、大きな喜びがおとずれる。しかし、経済的に豊かになりたいたか、きれいになりたいとか、欲望にとめどがなくなると、満たされれば満たされるほど、これが本当に求めていたものなのかどうかわかりますわからなくなるという構造に、われわれは気がついた。

山田 ゴールがないのに、ただ前へ進むだけだったと。

橋爪 きちんとした目標を持つために



●はしづめだいたいざぶろう 一九四八年神奈川県生まれ。東京大学文学部卒。東京大学大学院博士課程（社会学）単位取得退学。性／言語／権力を説明原理とする。独自の「記号空間論」を展開する。著書は「はじめての構造主義」ほか多数

橋爪大三郎

（東京工業大助教授）

は、構想力が必要です。自分がなにをしたいかを自分でわかっていなければならぬ。おカネがないので、働いて貯金しよう、人材が足りないので教育しよう、そうやって、ないものもあるものにつくり替えていく。そのために必要なことは何かを考え、それに集中して、自分たちが思い描いたしあわせを実現するために競争して頑張る。こういうのが目標だと思ってるんですけど、そういう議論が飛ばされていたんじゃないかと思うんです。

橋爪 幸福かどうかは感受性があればわかるんですけど、それを自分の手で築くということをしてこなかったんじゃないか。いろんな民族が争い合い、せめぎ合っているような大陸にいたら、どんなに能天気な民族でも構想力がないとダメでしょう。構想力を提供してくれる人に注目し、それを自分たちのリーダーにしようと思える習性がある。しかし、わが国の場合、そこまで厳しい状態ではなかったもので、そういう構想力はあまり必要なかったんじゃないか。お人好しなんです。目標もないまま脱兎のごとくに走り出して

しまつて止まれない。いまは非常に戸惑っている状態じゃないか。
しかし、これからが成熟していくチャンスだと思えます。モノがなければ欠乏を動機にして走っていくことができるけれど、何もかもが揃ってみたら構想力がなかったことに気がついた。ここで初めて文明というものについて語れる段階に来たんじゃないか。

日本人の「存在理由」とは

山田 いまのお話を伺っていて思ったんですけど、ヨーロッパだと、たとえば爆撃などで町が壊されると、また元通りに復元しますね。爆撃されなくても、たとえば中世の形をなるべく維持していきましょう。それが幸福のあるべき風景だと思ってるのでしょうか。不思議に思える時があるのですが？

橋爪 ヨーロッパの人々にとって文明の原初のイメージは、都市だろうと思ってるんです。そこには教会があって、市

SAIJIKI CALENDAR

●「ぶ」と「ぶ」の違い 1日
から弘前の「ねぶた」が、2
日から青森の「ねぶた」が始
まり、7日まで続く。元来は
七夕の行事で、罪や穢れを流
すのが目的。ねむた流し、ね
ぶり流しなどともいい、同種
の行事は東北各地から、北関
東、信州にまである。
また、最後には灯籠を海や
川に流す「眠り流し」がある



ところから、夏の労働の妨げ
となる睡魔(ねむたい→ねぶ
た)を追い払う呪術にもとづ
くともいう。長崎にはネムの
木で睡魔を祓う行事もある。
東北四大祭りは、青森のね
ぶたを皮切りに、秋田の竿灯
(5-7日)、仙台の七夕(6
-8日)、山形の花笠まつり
(6-8日)と続く。雪国の
エネルギーの爆発である。

おいしき世界を創造する
NIKKA WHISKY



モルト100%、質沢なおいしさ。
ニッカ「オールモルト」
飲酒は20歳を過ぎてから。

いんじゃないかと思えます。
山田 確かにおっしゃる通りで、コン
トロールしなきゃいけないと思うけれ
ども、たとえばオゾン層が破壊される
からフロンガスを全廃しようというの
は、理性ではそう思いますよね。だけ
ど、どうも知的了解だけでは、行動に
力がない。ヨーロッパの都市の復元に
は情念の力がかなりあります。われわ
れも世界規模の環境問題をとらえるこ
きに、情念プラス内発性をもっとほし
いんですね。そういうものがどうやっ
たら手に入るのか。ここでもうカネ儲
けはよそうというのは、知的なコント
ロールだけではすまない。どこかで内

発性がないと。
橋爪 その通りですね。
山田 「これ以上やると不幸になるか
ら、ここでよそう」と誰かがいうと、
それがみんなの共通感情になるとい
うものがほしいんですね。ことによると、
内発性がないことがわれわれ日本人の
思想の根拠になっているのではないか
とも思いますが。
橋爪 日本人は欲望を止められないと
言いましたけど、別の面から見ると、
日本人ぐらい自分の欲望をあつさり
あきらめてしまう民族もいないと思
うんです。それはおそらく、自分の欲望
をほかの人間との関係で調整している

からだと思うんです。神様が「お前は
ここまでやる権利がある」と言っ
たら、誰が何と言ったってやっちゃいま
すよね。しかし、日本人の場合、みん
なと仲よく暮らしていくという技術で
やってきたから、自分と衝突するほか
の人間の欲望があると、どうしてもこ
れをやりたい、とは言えないん
ですね。
日本にも生活技術とか自分をコント
ロールする知恵がないわけではない。
しかしそれは、それでもうまくやっ
ていけないという自然条件や社会条件が整
っていないと、うまくはたらかないわ
けです。急速に近代化してしまったり、

庁舎や広場があつて、民衆が共同で住
んでいる集合住宅があつて、城壁があ
る。そこには秩序がかくあるべきもの
として実現されてるんですね。それが
外の民族によって破壊されたりする
と、都市はなくなるけど、あるべき都
市は人々の心の中にずっと残っている
わけです。
山田 ただ、世界の状況は激しく動い
ていますね。生活のスタイルも相当変
わってきている。復元よりも、よき修
正というか、どうして新しく二十世紀
のスタイルでつくろうと思わないので
しょうか。中世の美の基準がベストだ
と思ってるんでしょうか。
橋爪 それが、自分の存在理由になっ
ているんでしょうね。自分がしあわせ
になるためには、自分をコントロール
しなくちゃいけない。自分がなにを求
めているかがわからなければ、しあわ
せになれるわけだから、ある意味で
人間を超えるものが必要です。それを
考えて、初めて自分をコントロールで

きるんですね。
山田 自分を超越するものとは、ヨーロ
ッパでは神ですね。
橋爪 そうです。神というのは、人間
をしあわせにする能力があり、誰にと
つてもただ一つのものである。なか
からまくできています。神は人間をコ
ントロールする。そうやって国際平和
をもたらすし、経済的な繁栄もたら
すし、非常にうまい工夫なんですね。
都市もおそらくそこからきています思
うんです。宗教のほうはだんだん世俗
化していききましたけど、都市のよう
な原初のイメージを否定してしまうと、
おそらく彼らは彼らでなくなっちゃう
んじゃないか。
山田 日本はそういうイメージを持た
なかったからこそ、いまの経済発展も
あった。いわば構想力を否定すること
によって、われわれは経済的に豊かに
なってきた。構想力がないから、確
かにとめどがないと一応いえますが、欲
望というのはヨーロッパ人といえども

とめどがないものじゃないかとも思
うんです。
橋爪 そこはむずかしいですね。最近
環境問題がいろいろ言われてますけれ
ど、いちばん熱心なのは、やっぱりヨ
ロッパです。ヨーロッパは陸続きで、
森とか山とかも大昔から開発されてい
るから、大事にコントロールしてい
かないとすぐこわれてしまう。こうい
うことが生き方の中になりにしみつい
てるのではないか。そのノウハウを地球
規模に拡大していくことができるんだ
ろうと思うんです。彼らは、「止める」
ということに熱心ですね。
山田 止めるための根拠がありますも
のね。
欲望を制御するものがない

SAIJIKI CALENDAR

●抹茶を気軽に楽しむ 和菓子がヘルシーだと人気だが、それにつれてか、抹茶が売れている。東京・池袋の東武百貨店の話では、前年比3割増で、男性や学生も買っていか。抹茶には、細菌への抵抗力を高め、視力に大切なビタミンAが豊富で、ビタミンCもかなりある。飲み物としてなかなかの優れたものだ。



8/3
月曜 大安

●茶道の作法など不要 安い茶筌と茶碗(夏はガラス器もいい)さえあればOK。たて方はお湯を回転させずに、縦に切るようにし、底に粒々が残らず、細かい泡が立てばいい。暑い日は「アイス抹茶」がいただける。茶碗、水ともよく冷やしてたてるが、最後に氷片を入れてもよし。お菓子ば冷たい水羊羹が葛ざくらを。

毎月3日は
耳
の健康診断
リオネット
補聴器
●お問い合わせは
リオネット株式会社
東京都国分寺市東元町3-20-41 ☎185
☎(0423)22-1133(大代)

山田 たとえば、上野の西郷さんの銅像のあたりにイランの人たちがたくさんいますね。戦前の金持ちの息子たちがマルキシズムによって劣等感を持たされたように、貧富の落差に圧倒されて、少し強いことを言われるとオドオドしてしまふ。豊かであるためのオドオドもあるんじゃないでしょうか？

橋爪 慣れもあると思います。たとえば中国人だったら、鼻のところが青い目の人も中国人の中にいるんです。北京なんか夏になると、中央アジアから瓜なんかを売りにきた人が町中にいるわけですね。言葉も通じないけど、中国人なんです。昔から中国はそうで

山田 海外旅行に行っても、大半は景色を見てるだけですものね。
橋爪 イラン人が同類と思えるかどうかは、上野の山で、ああいう生活をしているもうひとりの自分を想像できるかどうかなんです。そういう想像は精神に負担がかかっちゃうわけですね。
山田 ちょっと手にあまるといふ感じがします。

人間への関心を掘り起こせ

山田 ことによると、外国人が入ってきたために、日本人どうしを事実以上に同一性でとらえすぎているのかもしれない。

外国人が大勢やって来たりするとこの技術がなかなかうまくはたらかない。「異質なものの」への想像力
山田 逆に、欲望の発展も、まわりの圧迫によって推進しちゃうところもあります。「お前は研究者なのにサボるのか」とかいわれると、一生懸命になって、高度なゴキブリ捕りをつくっちゃうとか、とめどなく研究してしまふところがありますね。
橋爪 いままでには、それがよいほうに出て経済がみごとに発達してきたわけですけど、裏目もありますからね。
山田 日本国内でお互いを気にしている範囲で解決していれば問題はないんだけれども、今度はそこへ異質なものがどんどん入ってきますね。まわりの日本人だけ気にしていればいいなんていつてられなくて、異国の人たちのことも気にしなきゃならなくなってくる。ところが、世界中にとめどなくいろいろな異質があるわけだから、全部

にいい顔はできません。そこで判断を停止しちゃうところがある
橋爪 このままいくとノイローゼになるような感じですよ。日本人は、ものだからだど騒がなくても、それなりにささやかなしあわせを見つけて満足する技術はあったように思うんです。
山田 それに織田信長のころまでは異質なものをけっこう受け容れられていた。農村にも異人たちが大勢出入りしていたし、国境も曖昧で、中国人が亡命してきたり、日本人も中国とか東南アジアにどんどん出て行っていた。キリスト教が伝来し、流行り始めた。人間の移動もかなりあった。それやこれやでゴシャゴシャになってきたときに、徳川家康が幕藩体制という箱をつくって、その中に入れてしまった。凍結冷凍しちゃったんですね。信長のころは、世界的に見ても繁栄した国家だったんだけど、三百年も凍結してしまつたから、開国したときはものすごく遅れていた

し、われわれも精神の足腰がすっかり萎えていた。隣近所の人と仲よく暮らしていく技術だけが、三百年の間になり強まったと思うんですが、信長のころの日本人は、国際性と、隣近所と仲よくやっていく能力とを兼ね備えていたはずですよ。だからこれからは、国際性のほうを開発していけばいいんじゃないかと思えますね。
山田 江戸時代になって、放っておくと異質なものの交際があまり多岐にわたってしまうから、貝のふたを閉じてしまったというところでしょうか？
橋爪 元寇のように、日本には古代から、外国に攻められて占領されてしまふ可能性は、潜在的にありました。が、いまはない。経済力だけみても、外国と互角以上になったから、そんなにビクビクすることはないんです。こういうゆつたりとした態度で外国と付き合えるのは、いまが初めてじゃないでしょうか。にもかかわらず、どこかオドオドしてるんですね。

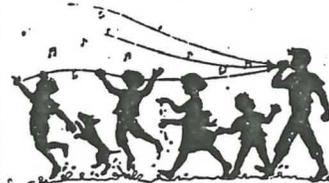
SAIJIKI CALENDAR

●パソコンは中古車感覚で
いつもオジサンは機械に弱い
とバカにされているから、夏
休みにパソコンでも、という
人に、中古パソコンを推薦。
パソコンの新製品は半年の
サイクルだから、中古でも性
能は非常に良い。かつ中古販
売店では1年間保証の店も
少なくないので、中古といっ
ても信頼感は十分に持てる。



とはいえ、あまり安いのも
考えもので、ボーダーライン
はノートブック型10万円、デ
スクトップ型20万円が目安だ
が、これはオプションを無視
した数字だ。最初は中古で気
軽にやり、慣れたら高性能を
めざすのは車と同じこと。
不要になったパソコンの買
取りも盛んだが、箱や説明
書の有無で5000円は違う。

歌声が聞こえますか...



紙 温かさを伝えます
+ 暖製紙は、因時的な視野で紙の大切ごと
その中身を、えつつけます
十條製紙
〒100 東京都千代田区有明1-12-1(新有明ビル)
☎(03)3211 7311

の方法です。そういう方法はいくらで
もある。教育以外に、音楽にしても文
学にしてもそうで、目標は考えれば出
てくるし、方法もあると思うんです。
山田 秩序ということでは、いますと、
天皇なんていうのも、ほかの国にはあ
らまじない。なんているのかと考
え、とても面白いと思いますね。か
なり進歩的なことをおっしゃって方
でも、園遊会に年とって呼ばれたりす
ると行っちゃう。体裁悪いから行か
ないという人もいるだろうけれども、誰
も見えていなかったら、行きたいよう
な心性はかなりあると思います(笑)。先
日のタイの国王に対する左右の姿勢は

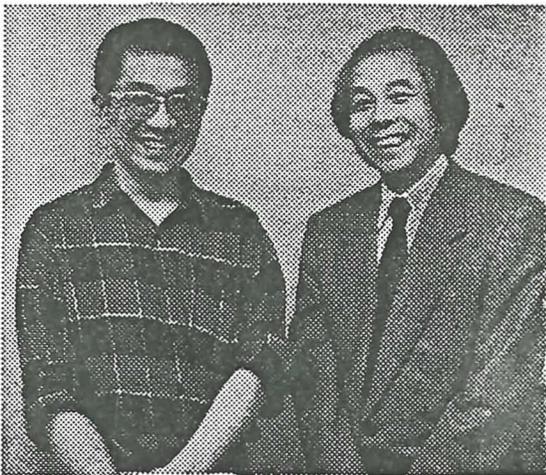
だと思っているのは、ぼんやり見てい
るからだ。人間に対する関心、観察眼、
興味を掘り起こしていけば正しい認識
に至るはずなんです。
人間を詳しく観察するのは、人間の
制度のなかで文学と呼ばれる活動だろ
う。経済大国主義になったから日本の
文学は衰微した、文学が衰微したから
思想が衰微したという関係があります
けど、文学に代表される人間への関心
というものが無いと、他者とちがう自
分の発見なんていつまでたってもでき
ないんじゃないでしょうか。
山田 経済的に豊かになると、日本人
どうしの摩擦はかなりおカネによつて
避けることができずね。みんな他者
との葛藤に弱くなってきているところ
へ、外国人がどんどん入ってきたり、
世界的にいろんな人と付き合わなきゃ
ならなくなると、異質なものと
生きる訓練をあらためてしなきゃなら
なくなつた。外国映画にしても、アメ
リカ、ヨーロッパの映画だけを見ない

で、いろいろな国の映画を見ると、び
っくりするくらい面白いんですね。そ
の違いを我慢したり面白がつたりして
くれば、日本の民度みたいなものも成
熟すると思うんですが、そのところが
がまだ私もそうですが単純ですね。
神や天皇が果す役割
橋爪 その点はいろいろな人に考えて
いたきたい。教育にしても、いまは
品質管理みたいな考え方で、知識を一
律に能率よくみんなに身につけてもら
うという原理でやっているので、
昔は学校が終わったら、地域の子供集
団が必ずあって、そこではおカネを持
つてたつてダメ。学校の成績がよくた
つてダメ。全然別の秩序で子供と子供
が向き合う世界があった。そういう世
界があることでバランスがとれていた
と思うんだけど、いまそれが無いです
ね。なかつたらつくらなくちゃいけな
いわけで、アメリカのようなサマーキ
ャンプみたいなものをやることも一つ
きない面があるはずなのに、お人好し
が多過ぎるんじゃないかという気がす
るんです。
山田 だけど、いまの時代に「天皇な
んて無関係だ」というのは、わりあい
簡単なことであつて、何の関係もない
のに、なぜいるのかということのほう
が、ぼくは不思議という面白いとい
うか……。日本にはキリスト教的な絶
対神はいないわけで、天皇のようなも
のを、日本の文化全体が潜在的に求め
ているんじゃないですかね。
橋爪 そうですね。日本の場合、人間
をコントロールするのは、人間なんで
すね。でも、それはしゃくにさわるわ

れませんか。日本人内部でも、他者が
たくさんいるんだということを自覚し
なければ、外側の他者に対応できる感
覚が育たない。日本人はみんな同じだ
なんておかししいし、イラン人にしたつ
て、イランの小説を読んだりすると、
日本人の他者より同一性を感じる人が
いたりする。そういうレベルでの接近
がまだちょっとないですね。日本の内
部でも、もつとお互いの他者性みたい
なものに意識的になる。情念とか感受
性とかの領域でも多岐にわたつて他者
性があるんだということを、あぶり出
してみる必要があるんじゃないでしょ
うか。

橋爪 日本人のなかの他者性、異質性
をどうやってほじくり返したらいいか
ということを考えるうえで、いまおつ
しゃつたことは重要なポイントです。
人間はあるところから見れば似てい
る。また、あるところから見れば違つ
ているわけですけど、それは観察の密
度の問題だろう。日本人がみんな同じ

他人事ではない。
橋爪 人間をずっと観察していくと、
いつから人間が人間になり始めたかと
いう問題になって、そうすると社会と
か制度とかいうものは全部吹っ飛んで
いくわけですね。もちろん天皇も吹っ
飛んでいく。文学というのはそういう
ことをやるわけですから、本来、かな
りワイルドで毒があるものです。森鷗
外のように、「俺は天皇とまったく無
関係だ」と言う人がちゃんとして、そ
こから文学が始まっているというの
が、わが国の誇りだと思ふけれど、そ
のあとがあまり続かないのが残念で
す。文学って個人主義者でなければで



「他者を理解するには自分を知ることです」

SAIJIKI CALENDAR

●夏の塩分不足は危険 塩分の摂取は少ないほど健康的、というのが常識である。食塩を摂ると、血液の血漿中のナトリウム濃度が高まる。これと赤血球中のカリウム濃度とのバランスがとれているのが人体の正常な状態とされる。ところが、暑い日に運動をして汗だくになると、汗で塩分が排泄され、ナトリウム濃



度が低下、血漿中の水分が余る。その水分が赤血球を溶かして貧血を起こすわけだ。夏になると、足がつる(筋肉の痙攣)とか、立ちくらみがする人は、塩分不足が原因のことが多い。汗をうんとかいた日は、梅干しても召し上がれ。ポックリ病は塩辛いものが好きな人にはごくまれである、との研究もある。

家庭の常備薬

便秘でお悩みでしたら、「イチジク浣腸」をお役立てください。●10g●20g●30g(各2個人)

イチジク製薬株式会社

をやらないとダメですね。ずっと戦争を続けないと世界の平和は訪れない。しかし、もし違ったものに耐えるという方法で次の制度をつくることができれば、戦争をしないですむはず。山田 絶対神のいない日本なんて、案外、先を歩ける可能性を持っているのかもしれない。

それからもう一つの柱として、これも文学的になってしまふんですが、石垣りさんの詩に「食わなければ生きていけない」というようなリードではじまる作品があります。だから米を食べる、野菜を食べる、光を食べ、父を食べ、母を食べ、人の心を食べ、ある

日、台所に立つと、人參の尻尾が落ちていて、父のはらわたが落ちていて、母の骨が落ちていて。そこで私は初めて獣の涙を浮かべたというような作品です。一人の人間が生きていくということは、原罪的にいろいろなものを食っちゃうわけ。環境問題を語るときに、「地球にやさしくするには、人間が全部いなくなればいい」ということをいう人がいますけど、結局そうやってしまふ。人間はもともとひどいやつだ。タラコなんか食べちゃうわけですからね。あれなんか大変な数の卵でしょう。そのように人間はナチュラルをこわす

けです。その解決策として、人間であり人間でないものを必要とする。天皇はまさにこれだろう。そして、本当に人間をとらえた文学が完成すれば、天皇はいらなくなる。あるいは、国家というものの存在理由を日本人が本当に突き詰めて共和国をつくれば、もちろん天皇はなくなる。そうならないあいだは、天皇は決してなくならない。山田 なくなったらいいかというのと、そんなに単純に始末していいかなとい

うように思います。橋爪 確かに、なくなればいいという簡単な問題ではありません。人間は自分が人間であることだけに満足できなくて、自分を超越るものを求めますよね。日本人の場合、それが天皇だった。人間であって人間でないものだった。外国の神というのは、はじめから百パーセント、人間でないものなんです。完全に人間をコントロールできる。でも、とにかく、日本人は日本人で自己コントロールの方法を持つ。イスラム教はイスラム教の方法を持つ。アフリカの人たちはまた違う方法を持っている。そこから共通のものがない。どの民族にも言葉というものがあ

山田 ああ、言葉がね。橋爪 神も言葉だ、天皇も言葉なんだと思うと、文学も言葉ですし、そういうところを共通項としてさぐっていくと、人間をもういっぺん発見する新しい手がかりになるんじゃないかと思うんです。山田 いろいろな人たちが、いろいろな神を持っているんだから、急速に具体的なものを求めると、戦争のようなことになっちゃう。むしろいろいろな神がいるということに耐える訓練をするのが、最初の段階かもしれない。異質なものに耐えがたかったわけでしょう。自分の神を行き渡らせたかった。向こうには向こうの神があるのに。

「人間を減らす」という思想

てはきてますね。

橋爪 ギリシャのころは、二十万人、三十万人でも素晴らしい文明世界が営めたわけですから。一人ひとりの能力を開発していくことにもっとエネルギーをかけていくべきで、人間をふやすことにこだわる必要はない。ところが人間が減ればいいという思想がまだ一つもないんですね。

エゴイズムか共同性か

山田 バングラデシュなんかでベースコントロールがかなり強力に政策的にやられているというニュースを見ましたけれども、人口を減らそうという政治は、かなりなされ始めているんじゃないでしょうか。

橋爪 そうですけど、外側からやったら本人たちが苦しむことになるから、それはダメですね。自発的でなければ。山田 やはり内発性がなければいけませんね。

橋爪 自発的にやると、文明の根本構

造が変わります。家族がなくなりからね。いままで人類は必ず家族をつくって、結婚して子供を残すというスタイルだったんです。これは世界共通でしょう。それから逸脱した文明はまだない。でもそれをやらない限りダメなんです。

それを可能にするためには、一つは思想的な準備、もう一つは技術的な問題があります。老いて自分の生命が維持できなくなると、子供も誰もいないというときには、ロボットが頑張ってくれる。こういう技術的な可能性がないと、そんなことはできないです。

山田 不安でできませんね。

橋爪 これができるのは先進国だけなんです。先進国はいままで発展途上国の資源を奪って、豊かな物質生活を営んできた。次の世代にツケを回せばさらに大きな問題になっていくわけです。ある段階ではつきりとそれに訣別しない限り、地球も人類も救えない。ただ、それが自発的である必要がある。

自発的であるからには、思想として完成している必要がある。

山田 しかし、人間は個の発展だけではなく、個を相続させて自己実現する喜びみたいなものを、内的には求めるところがあつて、そのいちばん手っとり早いのが子供ですね。子供を通して自己実現する。それがストップされるとなると、子供なんかいなくてもいいというエゴイズムをもう一度育てるしかない。それとも、地球規模の共同性を考える思想ができるか。どっちかですね。しかし両方とも途方もない計画であつて、ほとんどリアリティがないと思ってしまう。

橋爪 最初はリアリティがないように見えますけど、そこさえクリアしてしまえば、あとは合理的なんです。

山田 存在自体が脅かされているという恐怖が内発的にあれば、いやでもその方向で生きざるを得ないのかもしれないが、とにかく人類が今、ギリギリのところにいることは確かですね。

私が企画した本

カラーインスピレーション



久野尚美+フォルムス著
発行 講談社
A5判 仮製 173頁
定価 2600円

「いろ」という言葉は元来和言葉で、見て快い、美しい色彩という意味でしたが、性交を現す象形文字である漢字の「色」と、現象世界のすべてのものを一括して表現する仏教用語の「色」が加わって、実に広い意味をもった言葉になったそうです。それは、あまりにも基準のない、あま

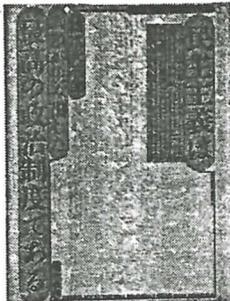
りにも豊潤な世界、とても言ったらいいのでしょうか。例えば同じ赤は二つとなく、どこからどこまでを青というのか判然としません。だからこそ「いろ」は、人々のイメージを掻き立て、あらゆる名詞を駆使し、微妙なニュアンスを表出するのです。本書は、ヨーロッパ人がこの

した膨大な資料をフォルムスがデータ・ベース化し、数値におきかえた後、色の再現を試みしました。その世界はまさにイメージの宝庫です。オペラ、ナポレオン、マドンナ、月光、サロメ、ピクニック……。収録された全六〇六色はすべて先人の知恵であり、見るものの意識をインスピ

レーションの中にいざなってしまうのです。また、凸版印刷の最新技術と沢川青由氏のアドバイスにより、現在流通している色の本の中でも屈指のフルカラー書籍であることをつけ加えておきます。

●加藤 広 講談社第一出版センター

民主主義は最高の政治制度である



橋爪大三郎著
発行 現代書館
四六判 上製 240頁
定価 2060円

PKO協力が連夜のバトルロイヤルの体力勝負で成立したり、「ヤクザ」というだけで人間扱いされない法律が全会派一致で施行されたり、一体、民主主義って何だっけと思うことが多すぎる。何を今さら「民主主義」などと口にするのも恥ずかしいと思ふ人も多いだろう。

実は私めも頭の隅で金科玉条としながらも、もう幻想ではない戦後民主主義を見限ろうとしていたのだ。数十年連れ添った糟糠の妻のようなもので、別れる切れるにしても、一度じっくり話し合おうか、それなりの見識の人の話を聞くとかせずばなるまいと思っ

ていたら、「陳腐で凡庸で過酷で抑圧的な民主主義は最高の政治だ」と、あの橋爪大三郎さんが言っているではないか。早速一読、実に腑に落ちた。少々嫌が増えても、やはりいいものはいののだ。

橋爪さんは、現代思想界の旗手でありながら、非常に柔軟で

明哲で読みやすい論文を書く方だ。不可解な現代の読み方を求めている人も多いことだろう。「現代」を聞いてみよう、と思つて出来たのがこの本だ。
●国家・民族・正義・憲法・自衛隊等、ソ連邦崩壊後の現代がこの本で解説できますよ。
●菊地泰博 現代書館